

香川高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語Ⅱ A	
科目基礎情報							
科目番号	191025			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建設環境工学科 (2019年度以降入学者)			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	総合英語 FACTBOOK これからの英文法、教員作成ハンドアウト						
担当教員	徳永 慎太郎						
到達目標							
英語でのコミュニケーションに必要な基本的な文法力及びリスニング能力の定着を目指す。特に英文法を体系的・集中的に学ぶ。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	英文法の基本構造を理解し、演習問題を経て基本的知識を体得できる。			英文法の基本構造を理解し、演習問題を経て基本的知識を体得できる。		英文法の基本構造を理解し、演習問題を経て基本的知識を体得できていない。	
評価項目2	習得した英文法知識を使用して基本的な (科学) 英文を読解できる。			習得した英文法知識を使用して基本的な (科学) 英文をある程度読解できる。		習得した英文法知識を使用して基本的な (科学) 英文をある程度読解できていない。	
評価項目3	TOEIC-Bridgeレベル程度の英文のリスニングが理解できる。			TOEIC-Bridgeレベル程度の英文のリスニングがおよそ理解できる。		TOEIC-Bridgeレベル程度の英文のリスニングがおよそ理解できていない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 D-2							
教育方法等							
概要	英語でのコミュニケーションに必要な基本的な文法力及びリスニング能力の定着を目指す。特に英文法を体系的・集中的に学ぶ。						
授業の進め方・方法	* 総合参考書や自作プリント・映像を使用し、英作文力の強化を図る。* 自作プリントを使用し、文法力・リスニング力の強化を図る。* 予習を確実にし、確認をする。* 教員によるなるべく文法用語を使用しない文法解説を受け、演習問題を行う。* リスニング演習も一部行う。						
注意点	予習を行う事は絶対条件とする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	文の種類、成り立ち		・ 英文の文型構造を理解できる。 ・ さまざまな時制を理解し、動詞、完了形、助動詞、態を使うことができる。		
		2週	文の種類、成り立ち		・ 英文の文型構造を理解できる。 ・ さまざまな時制を理解し、動詞、完了形、助動詞、態を使うことができる。		
		3週	動詞、文型、時制		・ 英文の文型構造を理解できる。 ・ さまざまな時制を理解し、動詞、完了形、助動詞、態を使うことができる。		
		4週	動詞、文型、時制		・ 英文の文型構造を理解できる。 ・ さまざまな時制を理解し、動詞、完了形、助動詞、態を使うことができる。		
		5週	助動詞、態		・ 英文の文型構造を理解できる。 ・ さまざまな時制を理解し、動詞、完了形、助動詞、態を使うことができる。		
		6週	助動詞、態		・ 英文の文型構造を理解できる。 ・ さまざまな時制を理解し、動詞、完了形、助動詞、態を使うことができる。		
		7週	助動詞、態		・ 英文の文型構造を理解できる。 ・ さまざまな時制を理解し、動詞、完了形、助動詞、態を使うことができる。		
		8週	前期中間試験		試験で達成度を確認する。		
	2ndQ	9週	5 文型・分詞・動名詞		・ 身の回りで使われる簡単な英語表現を聞き、話せる。 ・ 形、位置関係等に関する英語表現を聞き、理解できる。 ・ 科学英語に関する英文を読解できる。		
		10週	不定詞・動名詞		比較・仮定法・関係詞・不定詞、動名詞、分詞の用法が理解できる。		
		11週	5 文型・分詞・動名詞		比較・仮定法・関係詞・不定詞、動名詞、分詞の用法が理解できる。		
		12週	分詞・比較		比較・仮定法・関係詞・不定詞、動名詞、分詞の用法が理解できる。		
		13週	分詞・比較		比較・仮定法・関係詞・不定詞、動名詞、分詞の用法が理解できる。		
		14週	関係詞・仮定法		比較・仮定法・関係詞・不定詞、動名詞、分詞の用法が理解できる。		
		15週	関係詞・仮定法		・ 相手の話す英語の趣旨が70%ほど理解できる。 ・ 道案内や電話などでの英語表現を聞き、基礎的対応ができる。 ・ 科学英語に関する英文を読解できる。(D-2)		
		16週	前期末試験		試験で達成度を確認する。		
後期	3rdQ	1週	疑問詞 否定		否定・強調、倒置、疑問文、否定形、比較級、最上級とそれを用いた慣用表現が理解できる。		

		2週	疑問詞 否定	否定・強調、倒置、疑問文、否定形、比較級、最上級とそれを用いた慣用表現が理解できる。
		3週	話法 名詞構文	否定・強調、倒置、疑問文、否定形、比較級、最上級とそれを用いた慣用表現が理解できる。
		4週	話法 名詞構文	否定・強調、倒置、疑問文、否定形、比較級、最上級とそれを用いた慣用表現が理解できる。
		5週	倒置 名詞	否定・強調、倒置、疑問文、否定形、比較級、最上級とそれを用いた慣用表現が理解できる。
		6週	倒置 名詞	否定・強調、倒置、疑問文、否定形、比較級、最上級とそれを用いた慣用表現が理解できる。
		7週	強調	・ 買い物や天候に関する会話などが理解でき、基礎対応ができる。 ・ 数の大小、値段等に関する英語表現を聞き理解できる。 ・ 科学英語に関する英文を読解できる。(D-2)
		8週	後期中間試験	試験で達成度を確認する。
	4thQ	9週	冠詞 代名詞	前置詞、接続詞、形容詞、副詞、冠詞、代名詞の使い方が理解できる。
		10週	冠詞 代名詞	前置詞、接続詞、形容詞、副詞、冠詞、代名詞の使い方が理解できる。
		11週	形容詞 副詞	前置詞、接続詞、形容詞、副詞、冠詞、代名詞の使い方が理解できる。
		12週	形容詞 副詞	前置詞、接続詞、形容詞、副詞、冠詞、代名詞の使い方が理解できる。
		13週	前置詞 接続詞	前置詞、接続詞、形容詞、副詞、冠詞、代名詞の使い方が理解できる。
		14週	前置詞 接続詞	身の回りで使われる簡単な英語表現を聞き、話せる。 ・ 簡単な講義の一部やスピーチなどの英語表現を聞き理解できる。 ・ 科学英語に関する英文を読解できる。(D-2)
		15週	tipping	身の回りで使われる簡単な英語表現を聞き、話せる。 ・ 簡単な講義の一部やスピーチなどの英語表現を聞き理解できる。 ・ 科学英語に関する英文を読解できる。(D-2)
		16週	後期末試験	試験で達成度を確認する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	試験	予習	小テスト、提出物、発言	合計	
総合評価割合	75	15	10	100	
基礎的能力	75	15	10	100	
専門的能力	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	